

3月30日、国が行う除染事業を検証している「飯館村までの除染会議」が、「飯館村の除染に関する提言書」をまとめ、飯野出張所において、菅野宗夫委員長と愛澤文良副委員長から村長へ手渡しました。

提言書提出の際、菅野委員長から「村復興には除染が不可欠。全村民が納得し安心して帰村できる除染を早期に実施するように」と要望がありました。



▲除染の課題について提言がありました

**飯館村までの除染会議  
「飯館村の除染に関する提言書」提出**

- 《提言書の主な内容》
1. 村が当面の除染目標値とする、年間5ミリシーベルトとなるよう、本格除染及びフォローアップ除染を実施するとともに、国の長期目標値である追加被ばく線量年間1ミリシーベルトの早期達成を目指すこと。
  2. 帰還困難区域以外の高線量地域の除染については、他の比較的線量が低い地域と同じ方法ではなく、より効果的な除染方法を平成27年度内に示すこと。
  3. 村の営農再開のためには農業用利水施設（ため池、水路等）の除染が不可欠であり、農業用利水施設から再汚染しないような対策を講じること。
  4. 併せて、農地については徹底した除染を行うこと。
  4. 村民から信頼を回復するよう誠実な除染を行うこと。

**交通のきまりについて  
家族みんなで確認しましょう**

1. 車に乗ったら必ずシートベルトを着用
2. 子どもが乗車する時は、  
チャイルドシートの着用
3. 自転車に乗る時は、必ずヘルメットを
4. 家族みんなで交通のきまりを守るように  
声をかけ合ひましょう



▲6年生全員が家庭の交通安全推進員です

**交通安全は  
家庭から**



**家庭の交通安全推進員**

4月8日、草野・飯樋・白石小学校において、3校の6年生を対象に「家庭の交通安全推進員」の委嘱状が交付されました。

この日は、猪狩博之南相馬警察署飯館駐在所長から3校の児童代表へ委嘱状が手渡され、猪狩所長から「交通安全推進員として、交通のきまりをよく守り、楽しい学校生活を過ごしてください」とエールが送られました。

「家庭の交通安全推進員」は、小学校の最上級生である6年生が、下級生のお手本となるよう交通ルールを守ったり、家族みんなに交通ルールを守るよう声をかけたりするなど、日ごろから交通安全を意識して活動していきます。

委嘱状を交付された木幡圭吾さん（草野小6年）は「しっかりと交通のきまりを守り、みんなのお手本になります」と誓いを述べました。

**考えてみっぺ、村の学校**  
～今年度の飯館村の教育～ 第13回



- Q** 平成27年度飯館村教育委員会の教育施策の一つ、「自己肯定感の高揚」。そもそも、「自己肯定感」て何ですか!?
- A** 自己肯定感について八巻義徳教育長に聞いてみました!

新しい年度が始まり、子どもたちの元気な声があふれ、私たち、飯館村教育委員会も元気をいただいています。今年度、村教育委員会で取り組む「自己肯定感を高める」について、3回に分けてお話しします。

1回目は、「自己肯定感」て何?です。

自己肯定感とは、自分が「生きる価値のある人間」、「誰かに必要とされる人間」、「かけがえのない人間」など、自分自身を肯定する感情です。人間には、良い点も、伸ばしたい点も、強くしたい点もあります。それを前向きに受け入れる気持ちです。

自己肯定感の高い子どもは、自信と挑戦する意欲を持っています。

その前向きさに人が集まり、その人たちとかかわって生きていきます。自己肯定感と反対のことは、自己否定感、自信喪失感で、挑戦に臆病になったり、失敗を恐れたりする感情です。

来月2回目は、「子どもたちの自己肯定感はこうすると高くなる」をお話しします。

飯館村教育長 八巻義徳

**自分を認め、自信を持って人生を切り拓いていく「自己肯定感の高い子」を目指してみっぺ!**

**しっかりと生きろ／〇〇／立派になれ**

飯館村教育委員会  
学校教育指導員 海野 和夫

これは、30年前、御巢鷹山に墜落した日航機に乗り合わせて亡くなった29歳の父親が二歳の長男に書き残した「遺言」です。〇〇とは当時二歳の息子の名前です。墜落の途中、手帳に必死の思いで書いたものと思われまます。

しっかりと生きろ、立派になれとは、親であれば誰でも本音で、わが子がそのように生き、そうなるように願ひ、また親としての自覚を強く意識する言葉です。でも今の時代、家庭でよく聞く言葉ではありません。それはとても大切なことと思えても具体的な意味が不明瞭であることや、わが子に対して強い意志で教えを表現できる親が少なくなっているからです。

ところで、〇〇君は、父親の遺言を心のよりどころにして父親のいない人生をしっかりと生き、立派に成長しているということです。彼はしっかりと生きるという目標があったから、立派になるという結果が生まれたと言っています。

飯館村の保護者の皆様も、この言葉を心に念じ、はつきりと言葉にもしてはみてはいかがでしょう。わが子がきつとひとかどの人間に育つと信じます。子育ての責任が果たせまます。

教育相談の申し込み 飯館中学校教頭まで  
☎024-573-1161